

たより けやき

No. 5 2016年8月31日

発行 社会福祉法人けやき福祉会 設立準備会
住所 新潟市西区上新栄町3-4-83
電話 025-260-7798
※ このたよりは、会員の皆さんに発行しています

8/21 けやき会バザー、9/4 坂井輪祭りバザーが 開催され、寄付金が6万円集まりました。

8月21日の日曜日、午前10時から喫茶けやきにてバザーが開催され、38,415円の売上げがありました。また、9月4日の日曜日は、寺尾中央公園での坂井輪祭りにてバザーを行い、24,755円の売上げになりました。

多くの皆様に品物をお買い上げいただき、両バザーの売上げ合計で63,170円となりました。そのうち60,000円は社会福祉法人設立のために寄付し、けやき準備会の会計（準備会運営費）に3,170円を繰り入れました。

多くの品物を提供して下さった皆様方に心から感謝申し上げます。又多くをお買い上げ頂いた皆様にもお礼を申し上げます。さらに、両日とも暑い中で朝早くから手伝って下さいました会員のメンバーにはいつも本当に頭が下がります。ありがとうございました。

私達の人を大事にする施設地域の福祉拠点を必ず実現させましょう。皆様のさらなるお力を貸して下さいますようお願い申し上げます。

(会田 きよみ)



8月21日喫茶けやきでのバザー風景



バザーに来られた皆さん、品物選びに…



9月4日寺尾中央公園でのバザー風景です。



出店して品物を展示した様子です。

—夕やけこどもけやき食堂—

8月23日（火）開催

毎回、新しく参加される人がいまして、当日は予約なしで、次々と人数が増えました。

そんなこともあろうかと、調理スタッフはいつも多めに“ごはん”を用意しておきますので、大丈夫。

じゃがいもをたくさん寄付していただいたので、牛と豚の合いびき肉をたっぷり入れたコロッケを山のように作り、皆で揚げたてをおいしくほおばりました。おかわりも、あり売り切れゴメン！でした。

手作りのゼリーや漬け物も差し入れがあり、感謝しています。

次回（9月1日）は、枝豆をたくさんいただいたので“豆ごはん”にします。そして、子ども達からのリクエストで「焼肉」です。

西区社協さんの実習生で東北福祉大学と新潟医療福祉大学の学生さんも新しく参加してくださいました。いつもながら、体あそびも“ものすご〜く”盛り上がりました。丸山先生と篠田先生のすばらしいご指導のたまものです。

こどもけやき食堂の目指すもの

経済的な困難を抱えた子どもたちに限定せず、また単に食の確保という食堂ではなく、地域の子どもを地域の大人が見守り「一人じゃない」と育み、家庭と地域がつながる居場所にしたいと思います。

子どもたちには積極的にお手伝いをしてもらい、家でもしてくれるよう期待しています。学習サポートの大学生は、子どもたちにとって気軽に話せるお兄さん、お姉さんの存在です。シニアの方々もボランティアでかかわっていただき、自分が人の役に立つという尊い時間になっています。

子どもは、自分を大事に思ってくれる人が地域にいるという安心、信頼できる実感を得たら未来に希望を持ってけると信じています。



ゆうやけこどもけやき食

こどもけやき食堂は、子供たちが放課後に来られる「居場所」です。

学校の帰りに寄って、一緒にごはんを食べて、勉強したり、体遊びをしたりして過ごします。

ごはんをとおして家庭と地域がつながる場、子どもたちを地域の大人が見守り育てていく場です。

9月、10月の会員会議

開催日： 9月 7日（水）、 9月29日（木）
10月13日（木）、10月27日（木）

会 場： 上新栄町集会所

時 間： 午後7時から8時30分

※当日は会場費 200 円が必要です

※参加はご自由ですので、ご興味のある方、一緒に活動していただける方は、ぜひ一度ご参加下さい。



施設・建物の設計打合せが始まりました

建設予定地の測量等も終わり、施設・建物の設計の打合せが具体的に始まりました。今回、建物の設計を担当していただくのは、五泉市の神田陸建築設計事務所様です。

神田設計事務所様には、ささえあい生協の新規開設事業所「ささえ愛おうみ」の設計・監理もご担当いただきました。

8月25日（木）最初の設計図面の提案で、右上から1F、2F、3Fとなっています。まだまだ、素案の段階ですが予定土地の敷地内に施設建物の建設が十分に可能であることが判断できました。

次回以降、この素案をたたき台に私たちの思いや願い、希望等を設計に反映させ、建物に魂を吹き込んでいく手順が待っています。

設計には、上記のように私たちの意図を十分に反映させる必要がありますが、そのためには、皆様からの様々なご意見が大切になります。ぜひ、ああしたい、こうしたい、という皆様の思いを準備会にお聞かせください。お待ちしております。

八幡 義博



会員の皆様の声

若林 佑子さん

5年以上も前の事だっただろうか、会田さんが言った。「私はそのうちお店を閉じて浦佐の黒岩さんの所へ行くの。あそこで働ける間は働いて、そして施設に入るの」。それは素敵な選択だけど、なんだか新潟の大事な人材が吸い取られていくような淋しさを覚えた。それから数年、思わぬ展開で会田さん自身が「自分が入れる施設」をこの新潟市西区に作るようになった。そう来なくっちゃ。

ハートを燃やし続ける人は地元をこそ温めて欲しい。私達けやき会の会員もきよみさんほど燃焼度は高くなくとも、小さな灯をともしながら暖かい地域にしたいと願い、それを持ち寄っている筈。(私は何の資格もないただのボランティアで、動けない難病の方を時々訪問したり患者会のお手伝いをしたりしている。そして今年夫を亡くし一人になってみると、自分自身が温もりのある地域の中で暮らしたいと切に願う身になっていることに気付く。)

今は無事にスタート出来ますように、と願うばかりです。

自分の家に住み続けるために 内田 洵子さん

この地域に住んで四十四年…。三人の子育て中は、幼稚園はいっぱい。学校もいっぱい。必死に働いて、親を看取って、気がつけば私達は老後もいっぱい。でも、できることなら死ぬまで自分の家で暮らしたいと思っています。

地域で助け合うといっても、高齢期に必要な介護・介助は多岐にわたります。国は介護保険で利用できるサービスを重度に限る考えを示し始めましたが、実はまず、食事作り、買い物・通院などの生活の基本が困難になってくるのが高齢化です。ちょっとした骨折でも入院、リハビリ、介護の問題が発生します。現実突然の出来事に困っている人たちも多くなっています。

けやき会の準備と並行して、会田さんを中心に活動を始めた「こども食堂」のように、食事という生活の基本を提供しながら、人と人をつないで、一人ぼっちにしない。こうした活動が社会福祉法人けやき会の活動の一環として動き始めたら、この地域は住み続ける地域になることを信じます。

お詫び～会報の発行が遅れました～

8月31日発行予定の会報No.5の発行が遅れましたことお詫び申し上げます。

発行担当者の体調不良により、発行作業がストップしてしまうという事態になってしまったために発行が遅れてしまいました。

次回以降は、このようなことのないように体制を整えて対応してまいります。

どうぞ、ご寛恕のほどお願い申し上げます。

～編集後記～

土屋 容子

お盆をすぎたある日、実父の入所施設から、彼の状況とケアプラン（介護ケアの内容について、支援する計画内容と本人の状況）について担当のケアマネージャーさんより説明があるということで、ふだん親不孝をしているお詫びに実母と孫の障害をもつ桃花とお見舞いがたら、教えてもらいに伺った。

せっかちで頑固な父は、長年公務員をしていたが、おこりっぽくて家族は少し苦労して生活をしていた。とはいえ、定年退職まで勤務してくれた。そのおかげで、私は専門的な資格をとり、社会にだしてくれた。今ではとても感謝している。

そんな父が、病気になってからは、症状が悪化、入所してから一時期は職員さんにも負担をかけたようだが、最近は大きなトラブルもなく作業をしたり、好きな書道を愉しんだり、ほかの利用者の方と不器用な父なりに交流をしているようである。

柔和な顔になっている父をみると 父の望む自宅での介護ができない娘としては、うしろめたさが 少し減る。

遠方のため、面会には滅多にいけませんが、ここの職員さんは桃をつれていけざるを得ない状況でも笑顔で声をかけてくださり、関心をもってくださり、ありがたい。

介護は 本当に大変だと十分理解できるがゆえ、頭が下がる。介護関係のニュースなどでは、悲しい事件が後を絶たないし、残念なことも耳にするけれど、本来、介護という仕事は、崇高な仕事だと思っている。

気が付けば、けやき会での構想も大きなクライマックスをむかえようとしている。会田さん、高見さんを中心に、いろんな思いをもった方たちの輪が広がり素晴らしいアイデアがたくさん集まってきている。私も微力ながらそれらに協力し少しずつ前進していきたい。

「私にできてあなたにはできないもあり、あなたにできて私にはできないこともあります。だから、ともに力を合わせれば、素晴らしいことができるのです。」

マザーテレサ

発行担当者よりお詫び申し上げます

この度は、発行担当の私の体調不良により、会報の発行が遅れてしまいました。お詫び申し上げます。

8月29日の午後より急に左わき腹が痛み始め、急ぎよ早退して診察を受けました。内科ではわからず、痛み止めをもらって自宅でやすんでいましたが、痛みへの激しさに我慢できずに救急車に搬送依頼をしました。亀田の病院に搬送され、結果は6mmの大きさの「尿管結石」でした。

その後は、波のように来る痛みを我慢するばかりでした。今は、多少痛みも治まっていますので、仕事も平常通りに取り組んでいます。今後は、自分の体調に気を配りながら、ご迷惑をおかけすることのないようにいたします。今後ともよろしく願いいたします。

八幡 義博

寄付ご協力のお願い

「夢」が一步一步確実に 「カタチ」に近づいています

社会福祉法人は、地域の福祉事業を行う非営利法人です。土地（750坪）の測量も終わり、施設・建物の設計に入りました。

これから、会員・地域の皆さんの様々な想いや希望をお聞きしながら施設・建物の設計をまとめていくことになり、地域に必要とされる施設・建物であることを目指しています。

現在、会員及び会員以外の多くの方から既に約3,000万円の寄付金や寄付金の予約が寄せられています。さらに、ささえあい生協からの寄付金5,000万円も決定しています。

今年11月頃には、新潟市の介護事業の公募に応募し、同時に社会福祉法人設立の申請を行う予定です。私たちの願いを実現するためには、まだ2,000万円ほどが必要になります。なにとぞ皆様のさらなるご協力とご支援をお願い申し上げます。

◇呼びかけ人一同

寄付金振込口座

郵便局 口座番号：00580-0-102549

「社会福祉法人けやき会」設立準備会

代表 会田きよみ

第四銀行 小針支店

普通預金：口座番号 1345989

社会福祉法人けやき会設立準備会

代表 会田きよみ

※大光銀行、ろうきんでも受け付けております